

# 古い「低圧進相コンデンサ」からの火災にご注意を！

全国的に、古い「低圧進相コンデンサ」から火災が発生しています。

## 低圧進相コンデンサからの火災とは？

低圧進相コンデンサとは、200Vの工業機械や業務用冷蔵庫等モーターを使用する電気機器の力率を改善し、電力を効率よく使用するための機器として、店舗や作業場、事業所などで使用されています。

しかし、昭和50年(1975年)以前に製造された低圧進相コンデンサは保安装置が内蔵されていませんし、保安装置が内蔵されているものであっても、長期間使用していると内部の絶縁材料が劣化して発熱し、火災に至る危険性がありますので、次のことに注意してください。



コンデンサ設置状況



コンデンサ拡大写真

- ◆ 保安装置が内蔵されていない旧型(昭和50年以前に製造したもの)のコンデンサは、安全のため取替えてください。
- ◆ 保安装置が内蔵しているタイプのものであっても、10年以上使用しているコンデンサは、定期的に点検し、異常があれば取替えてください。
- ◆ 業務用冷蔵庫等のように常時通電が必要なもの以外は、メインブレーカーを切り、進相コンデンサに電圧がかからないようにしましょう。
- ◆ コンデンサの容器に穴が開いて油漏れしているもの、異常に膨れているものなどはすぐに使用をやめて、電気工事専門店で点検を依頼してください。

一般社団法人 JEMA 日本電機工業会

低圧進相コンデンサ注意喚起リーフレットや問い合わせ先が掲載されています。